



最新の就活事情に耳を傾ける保護者ら＝昨年11月、大分市

保護者向けセミナー

社会人の“先輩”として

現状、向き合い方指南

就活生の親を支援しようという動きも出てきた。企業活動セミナーを大分市内で業の新人研修などを手掛け開催。就活の現状や子どもるキャリアアウインドウ(別の向き合い方などを指南府市、小島健一代表)は昨した。

就活を取り巻く状況は親の世代とは大きく変わり、不安を抱える保護者も少なくない。就活には保護者の関わり方が大切として、初めて開いた。

市内の「就活予備校」や大学のスタッフが就活の現状や子どもとの接し方について講義。「保護者としてではなく、社会人の先輩として関わった方がいい」「子どもの求める企業像などを引き出すような質問を投げ掛けてください」などと、子どもやる気を引き出すコミュニケーション方法を説明。来場者の質問に答えた。

「子どもが就活を始めた時、質問に答えられるよう準備するために来た」と大学2年の息子を持つ大分市の公務員男性(47)。短大1年の娘と参加した市内の50代女性は「娘は就活に向けて活動を始めて

いるようだが、就活の現状はあまり分からない。就活関係の話題でコミュニケーションを取りたい」と話した。